

公害地域の **今** を伝える スタディツアー 2011

～大阪 西淀川・大気汚染の地を訪ねて～

■公害は過去のもの…って思っていないですか？

都市部では自動車による大気汚染が現在も問題となっています。

工場からの大気汚染も現在はどうなっているか、企業担当者から話を伺います。

■見学やヒアリングから得た知識をワークショップを通じて参加型で学びます。

■スタディツアーの前には事前勉強会を用意しています。

■参加者は現地で学んだことを、次は発信者として、伝えていくことを目指します。

日 程：スタディツアー

8月8日（月）～11日（木）3泊4日 ▶

事前勉強会 ※両会場とも13:00～16:00

7月9日（土） 会場：都留文科大学（山梨）

7月17日（日） 会場：あおぞら財団（大阪）

講師：小田 康徳氏（大阪電気通信大学、西淀川・公害と環境資料館館長）

※いずれかの会場で事前勉強会にご参加ください。

対 象：公害・環境問題に関心をもち、持続可能な地域づくりに 取り組む意欲のある人

※参加記録の執筆をしてもらいます。それらの情報を元に
新しい公害教育の教材および冊子を作成します。

定 員：40名

参加費：10,000円

※食事相当分の負担をお願いします。夜間の研修もあるため、原則宿泊参加が前提です。

※宿泊場所 経営開発研修センター

（大阪市港区三先1-6-3） <http://www.keieikaihatu.co.jp>

申込方法：氏名、連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）、所属、参加
動機を記入の上、FAX・Mail・郵便のいずれかで、下記
（あおぞら財団）宛に申込ください。

受付開始：5月19日（金） ※定員になり次第、締めきります

☆スタディツアーwebもご覧ください <http://www.studytour.jpn.org/>

1日目

集合

AM 関東（大月駅→都留文科大学からバス）

PM 現地（あおぞら財団：最寄駅＝御幣島）

PM 概要説明・資料館見学

夜 グループ分け・懇親会

2日目+3日目

日中 グループごとにヒアリング
フィールド見学など

夜 まとめ作業

4日目

AM 発表交流会

PM ふりかえり・解散（バスで帰路）

主な訪問・ヒアリング先（予定）

●訪問先

関西電力、国土交通省、地方自治体、
高等学校、デイサービスセンターなど

●ヒアリング先

被害者、医師、弁護士、行政、教育実践者など

主催・問い合わせ先：あおぞら財団（財団法人公害地域再生センター）

TEL：06-6475-8885

FAX：06-6478-5885

Web：<http://www.aozora.or.jp/>

Mail：webmaster@aozora.or.jp

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4F

※本事業は（独法）環境再生保全機構地球環境基金助成事業の一環です。

なお、いただいた個人情報は本事業の目的以外には使用しません。

公害地域の **今** を伝えるスタディツアー2011 ■ 申込用紙

(ふりがな) 氏 名	
住 所	〒
電話番号	※夏季休暇中に連絡のとれる番号を教えてください
メールアドレス	
所 属	
参加動機、 問題意識など	
その他（要望・質問等）	

参加者の声・感想（～2010年 新潟・水俣病の地を訪ねて～より）



公害問題とされてきたことの中に、環境教育、地域づくり、CSRなどの課題がすべて含まれていることに新たに気づくことができたツアーだった。

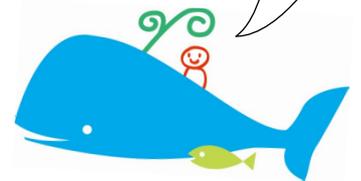


滞在中にお聞きした話は、言うまでもなく、非常に貴重なものだった。その時代を生きた人にしか語れない、その人でしか知りえない話もあった。私は、語ってくださる方の、私たちにむけられた「信頼」の気持ちを感じ、その気持ちに応えたいと思った。（中略）
私たちは、「語り継いでいく」というバトンを受け取ったのだと思った。



自分が地元のことをあらためて学べたように、友人などまわりの人たちに地元について見つめなおすことの大切さを伝えていこうと思う。小さなことだが、足元から行動する大切さをスタディツアーで学んだので、一生懸命取り組んでいきたい。

スタディツアーは
今年で**3**年目（最終回）です
ぜひご参加を！



協力専門家・スタッフ

※五十音順

板倉 豊（京都精華大学教授）／井上有一（京都精華大学教授）／大滝あや（Tao舎代表）／
小田康徳（大阪電気通信大学教授、西淀川・公害と環境資料館館長）／白神 加奈子（みずしま財団研究員）／
高田 研（都留文科大学教授、あおぞら財団理事）／西村仁志（同志社大学准教授）
あおぞら財団事務局：林 美帆／藤江 徹／鎗山善理子／相澤 翔平